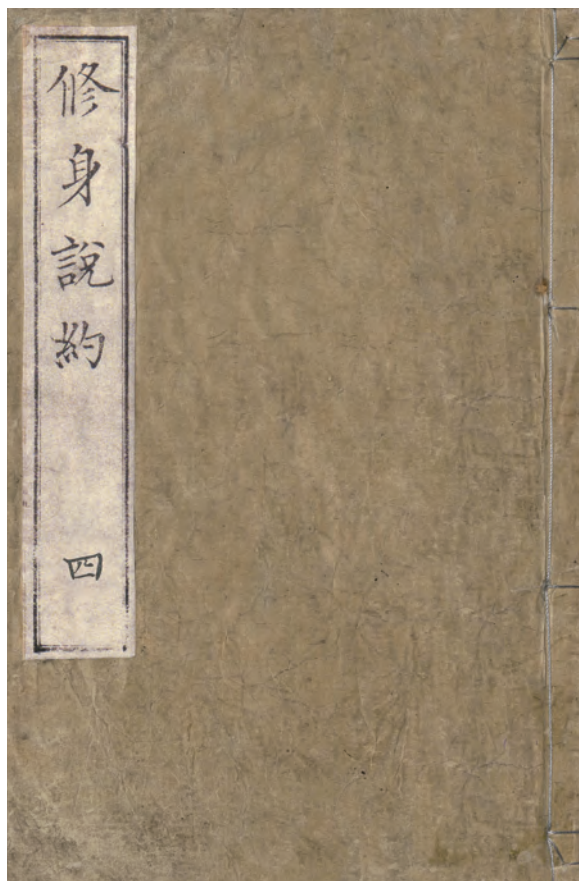


修身説約 卷ノ四

復刊版



群馬地域文化振興会

修身說約卷ノ四

木戸 麟 編纂

第

神武天皇、既中洲ヲ平ゲ、大和ノ畝傍ノ橿原ノ宮
ニシテ天位ニ即キ、タマヒシヨリ四年、詔スラク、
吾ガ皇祖ノ靈、天ヨリ照臨シテ、朕ガ躬ヲ光助シ
タマヘルニヨリ、諸虜僉平ギ、天下無事ナリ、朕ハ
天ノ神ノ子ナルバ、今天、神ヲ祀リテ、大孝ヲ申ブ可
シトテ、靈時ヲ鳥見山ニ立テ、タマベリ

第二

和氣清麻呂ハ、稱徳天皇ノ御世ノ人ナリ、天皇僧
道鏡ヲ寵スルヲ以、太宰主神中臣習宜阿曾麻呂、
道鏡ヲレテ皇位ニ即カシメバ、天下必太平ナラ
ムト、八幡太神託宣セリト矯奏ス、天皇清麻呂ニ
詔レテ曰ハク、汝筑紫ニ往キ、神勅ヲ受ク可
道鏡モ亦曰ハク、神意我ヲノ皇位ニ即カシメ
ト云、汝宇佐ニ往キ、神勅ヲ受ク、吾ガ望シノ如ク
セバ、汝ヲ以太政大臣ト爲サシ、若吾ガ意ニ違ハ
バ、嚴科ニ處スベシト清麻呂反命レテ曰ハク吾
ガ國開闢以來、君臣ノ分定レリ、臣ハ以君ト爲ル

可ラク、天日嗣ギ
 ハ必皇胤ナラザ
 ル可カラズ無道
 ノ人、早ク之ヲ
 除クベシト神勅
 アリシト奏シケ
 レバ、道鏡大ニ怒
 リ、其ノ官ヲ奪ヒ
 テ之ヲ大隅ニ流
 セリ、翌年光仁天



皇位ニ即キ、道鏡ヲ貶シテ下野ノ國ノ藥師寺ヲ
造ル別當トシ、阿曾麻呂ヲ多禰島ノ島守トシ、清
麻呂ヲ召シテ本位ヲ授ケタマハリ、後卒スルニ
及ビテ正三位ヲ贈ラレタリ、西京高尾山ニ在ス
護王明神是ナリ

第三

中江氏姓ハ藤、諱ハ原、字ハ惟命、與右衛門ト稱ス、
江州高島郡小川ノ人ナリ、母ニ事ヘテ孝ナリ、少
ヨリ書ヲ讀ミテ頗發明スルトコロアリ、其ノ學
王伯安ヲ宗ニス、本朝諸州ノ王學惟命實ニ之ヲ